

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A～F組：松下 訓子）

使用教科書：（ON！1 音楽の友社）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、糸に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに完成を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想を音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
オリエンテーション										1
A 豊かな声を響かせよう 【知識及び技能】歌唱表現に必要な技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】どのように表現するか意図をもって歌唱できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に活動に取り組ませる。	・指導事項 姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声 曲想と歌詞の内容とのかかわり 声の音色や強弱などを生かした表現 ・教材 「校歌」「翼をください」	○			○					8
B 楽譜のしくみを理解しよう 【知識及び技能】楽譜の基本的なしくみを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】楽典要素を実作品と結びつけて知覚感受させる。 【学びに向かう力、人間性等】楽譜の仕組みに関心を持たせる。	・指導事項 五線、音部記号、音名、速度標語、拍子記号、調号 ・教材 「音楽の設計図 五線譜を見てみよう」				○					3
C ピアノを弾こう 【知識及び技能】ピアノの基本奏法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】音色を感受し表現方法を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】ピアノに関心を持たせる。	・指導事項 姿勢、指番号、読譜、指使い、タッチ ・教材 「ちょうちょ」「ぶんぶんぶん」「きらきら星」等				○					7
D 作曲家の生涯と作品をたどろう 【知識及び技能】作曲の背景や音楽の構造を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴を理解し自分なりの感想を持たせる。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に意見交換し作品理解を深めさせる。	・指導事項 曲想や音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり ・教材 「メサイヤ」「悲愴」					○				2
E ミュージカルナンバーを歌おう 【知識及び技能】それぞれの楽曲の特徴や時代背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の美しさや特徴をとらえて歌唱表現を行なわせる。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの楽曲に関心を持ち主体的に活動に取り組む。	・指導事項 曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり、楽曲に対するイメージをもつことと表現の工夫、鑑賞を通じた音楽の多様性やそのよさの理解 ・教材 「レ・ミゼラブル」より	○			○					4
筆記テスト										1
F 表現を工夫しギターを演奏しよう 【知識及び技能】ギターの基本奏法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】楽器の響きを感じ表現を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】ギター演奏に関心を持たせる。	・指導事項 ギターの音色や奏法の特徴、音色・リズム・旋律・強弱など音楽を形づくっている要素の知覚とそれらの働きの感受 ・教材 「ギターを弾こう」				○					7
G 外国語の歌曲に親しもう 【知識及び技能】言葉の特徴をとらえ、楽曲に応じた発声の技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】言葉のリズムと旋律の関連を知覚し、表現意図をもたせる。 【学びに向かう力、人間性等】楽曲に関心を持ち主体的に活動に取り組ませる。	・指導事項 姿勢や身体の使い方、呼吸、発声、歌詞の内容と曲想、楽曲の文化的・歴史的背景、それぞれの言語がもつニュアンスのちがいを ・教材 イタリア歌曲「Caro mio ben」 ドイツ歌曲「Wiegenlied」	○			○					7
H 重唱の美しさを感じて歌おう 【知識及び技能】各パートの役割を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】役割やハーモニーを意識させ重唱の楽しさを味わわせる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的積極	・指導事項 各パートの音の重なり方や全体の調和、楽曲にふさわしい表現方法 ・教材 「A Whole New World」	○			○					4

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者：（AB組：土生）

（CD組：土生）

（EF組：土生）

（組：）

（組：）

（組：）

使用教科書：（ 高校生の美術 1（日文） ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 画	映 画						
1 学 期	<p>表現・鑑賞／絵画 身近なものを描く「描く楽しさを感じよう」</p> <p>【知・技】形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表す。</p> <p>【思・判・表】身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【主体】身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項</p> <p>小・中学校での図画工作・美術の学習を振り返り、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けていく。身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりするとともに、身近なものの特徴や美しさなどの全体のイメージを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表す。</p> <p>・教材</p> <p>鉛筆、ボールペン、木炭、色鉛筆、クレヨン、パステルなど</p>	○	○	<p>「知」形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、身近なものの特徴や美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。「技」意図に応じて画材などの特性を生かすとともに、線の強弱など表現方法を創意工夫して表している。「発」身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。「態表」身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい身近なものの特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
1 学 期	<p>表現・鑑賞／デザイン／絵画 漫画の表現「効果音をデザインしよう」</p> <p>【知・技】状況や心情にあった効果音を効果的な形や色彩を使用し、伝達目的や意図に基づいて表す。</p> <p>【思・判・表】伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【主体】伝えたい内容を文字の書体や配色で効果的に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項</p> <p>効果音（擬音語や擬態語）が漫画の表現においてどのような役割を持つのか理解し、その効果について考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、日常にある音や心情を表す音などイメージにあった効果音のデザインをする。文字の書体、構成、配色など画材の特性を生かして表現する。</p> <p>・教材</p> <p>画用紙、アクリルガッシュ、デザインボードなど</p>	○	○	<p>「知」形や色彩の性質やそれらが感情にもたらす効果、効果音の意図や目的に求められる造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。「技」効果音の意図や目的に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。「発」効果音の役割や目的などから主題を生成し、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。「鑑」見やすさや美しさの調和を感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。「態表」効果音の役割や目的を審美や配色で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」効果音のよさやデザインの美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	22
2 学 期	<p>表現・鑑賞／彫刻 抽象彫刻で表す「感情を表す形」</p> <p>【知・技】重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して表す。</p> <p>【思・判・表】自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら、主題を生成し、造形的なよさや美しさや美しさや美しさの調和を考慮し、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【主体】感情やイメージなどを象徴する形を考え、抽象彫刻に表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項</p> <p>自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら、主題を生成し、造形的なよさや美しさや美しさや美しさの調和を考慮し、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、存在感や美しさなどが感じられる抽象彫刻に表す。</p> <p>・教材</p> <p>紙粘土、ケント紙、アクリルガッシュなど</p>	○	○	<p>「知」重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。「技」意図に応じて、材料や用具の特性を生かして創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。「発」自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢など造形的なよさや美しさや美しさや美しさの調和を考慮し、構想を練っている。「鑑」抽象彫刻のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。「態表」自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から考えたりした形を基に、立体で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、抽象彫刻による表現の特性、作者の表現意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	30
3 学 期	<p>表現・鑑賞／絵画 私の見つけた風景「ゴッホからのメッセージ」</p> <p>【知・技】ゴッホの色彩や筆致といった技法の特徴を理解し、風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表させる。</p> <p>【思・判・表】ゴッホの色彩や筆致といった技法の特徴を捉え、身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞させる。</p> <p>【主体】ゴッホの色彩や筆致といった技法の特徴や意図や思い、自分が選んだ風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組ませる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>ゴッホの色彩や筆致といった技法の特徴を捉え、身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、風景から感じ取ったよさや美しさなどを絵の具などの特性を生かして表す。</p> <p>・教材</p> <p>ゴッホの作品図版、スクラッチボード、ニードル、アクリルガッシュ、カーボン紙など</p>	○	○	<p>「知」風景の中の空間、形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。「発」風景の中の色や形などを深く観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色彩、構図などの効果を考え、創造的な構想を練っている。「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、風景面の見方や感じ方を深めている。「態表」風景から感じ取ったよさや美しさ、不思議さや面白さなど、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい風景の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14
									合計
									70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：

単位 2

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A組：加藤三奈）（B組：加藤三奈）（C組：宇田京香）（D組：宇田京香）（E組：宇田京香）（F組：宇田京香）

使用教科書：（光村図書 「書 I」）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮 賞					
1 学 期	単元「書写から書道へ」 ◎小・中学校国語科書写で学習した、基本的な知識・技能を確認させる。 単元「様々な書体の変遷、臨書とは」 ◎古典の臨書を通して技法を学び、「文字の造形を学ぶ【楷書】」 単元「あなたは、どの楷書が好き？」 ◎日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解する。	①筆使い、筆順、字形、配列など小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 ②漢字には五つの書体があること、それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解する。	○	○	○	○	○	○	4
	①A～Dのグループの文字を比較し、自分が好きなものを選ぶ。 ②その文字を選んだ理由や受ける印象を自由に話し合う。 ③選んだ文字ごとにグループを作り、自分が受けた印象は、文字を形成するどの要素から感じ取れるかを話し合う。	○	○	○	○	○	○	○	6
	単元「唐の四大家に学ぶ楷書の基本」 ◎楷書の古典「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①唐の四大家の人柄や政治的立場など、その人物像を理解する。 ②初唐の三大家と太宗の関係について理解する。 ③唐の四大家の代表作を知り、書道史において果たした役割や位置づけに関連づけて理解する。	○	○	○	○	○	○	8
	文字の造形を学ぶ【行書】 ◎行書の古典「蘭亭序」「争坐位文稿」「蜀素帖」「風信帖」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。 ②「蘭亭序」を鑑賞し、抑揚を利かせた用筆や、筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ取る。	○	○	○	○	○	○	8
2 学 期	文字の造形を学ぶ【草書／隷書／篆書】 ◎草書、隷書、篆書の古典「真草千字文」「曹全碑」「泰山刻石」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①草書／隷書／篆書の成立過程や通行書体としての性質を再確認する。 ②それぞれの古典が作られた経緯や書風について理解する。 ③学習のめあてと、成立・特徴を確認し、鑑賞・臨書を通し、点画や線質の特徴を理解する。	○	○	○	○	○	○	15
	「漢字の創作 古典を生かした創作」 ◎漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。□ □ □	①創作の手順を理解し、書く言葉を決め、表現のイメージを明確にもつ。 ②これまでに学んだ古典を参考にしながら作品の構想を練り、書体や書風、用具・用材、全体構成を考える。 ③試作を重ね、表現を工夫する。落	○	○	○	○	○	○	15
3 学 期	単元「仮名の成立と種類、仮名の筆使い」「平仮名」「変体仮名」 ◎仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 仮名の古筆「蓬萊切」「高野切第三種」にて書風に即した用筆・運筆、	①漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する。 ②臨書する部分を観察し、意連・形連のしかたや筆脈の流れ、墨継ぎの場所を確認する。伸びやかな用筆・運筆を意識して臨書する。	○	○	○	○	○	○	7
	漢字仮名交じりの書 好きな言葉を書こう ◎漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。	①漢字仮名交じり創作の手順を理解し、表現のイメージを明確にもつ。 ②これまでに学んだ古典を参考にしながら作品の構想を練り、書体や書風、用具・用材、全体構成を考える。 ③試作を重ね、表現を工夫する。落款を入れ、作品を仕上げる。作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流す	○	○	○	○	○	○	7

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～F組

教科担当者：（A～F組：松下 訓子）

使用教科書：（MOUSAⅡ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、糸に基づいて表現するための技能を身につけるよう

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに完成を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想を音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
オリエンテーション										1
A 曲想を感じ取って、曲にふさわしい発声で歌おう 【知識及び技能】歌唱表現に必要な技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】どのように表現するか意図をもって歌唱できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に活動に取り組ませる。	・指導事項 姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声 曲想と歌詞の内容とのかかわり 声の音色や強弱などを生かした表現 ・教材 「Alleluja」「糸」	○		○			○	○	○	8
B 楽譜のしくみを理解しよう 【知識及び技能】楽譜の基本的なしくみを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】楽典要素を実作品と結びつけて知覚感受させる。 【学びに向かう力、人間性等】楽譜の仕組みに関心を持たせる。	・指導事項 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成 ・教材 「音楽を織りなす様々な要素」		○		○			○	○	3
C ピアノを弾こう 【知識及び技能】ピアノの基本奏法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】音色を感受し表現方法を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】ピアノに関心を持たせる。	・指導事項 姿勢、指番号、読譜、指使い、タッチ ・教材 「シンコペーテッド・クロック」等		○				○	○	○	7
D 作曲家の生涯と作品をたどろう 【知識及び技能】作曲の背景や音楽の構造を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴を理解し自分なりの感想を持たせる。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に意見交換し作品理解を深めさせる。	・指導事項 曲想や音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり ・教材 「クローズ・アップ・マエストロ」				○			○	○	2
E ミュージカルナンバーを歌おう 【知識及び技能】それぞれの楽曲の特徴や時代背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の美しさや特徴をとらえて歌唱表現を行なわせる。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの楽曲に関心をもち主体的に活動に取り組む。	・指導事項 曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり、楽曲に対するイメージをもつことと表現の工夫、鑑賞を通じた音楽の多様性やそのよさの理解 ・教材 「オペラ座の怪人」より	○		○			○	○	○	4
筆記テスト							○	○	○	1
F 表現を工夫しギターを演奏しよう 【知識及び技能】ギターの基本奏法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】楽器の響きを感じ表現を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】ギター演奏に関心を持たせる。	・指導事項 ギターの音色や奏法の特徴、音色・リズム・旋律・強弱など音楽を形づくっている要素の知覚とそれらの働きの感受 ・教材 「天体観測」		○				○	○	○	7
G オペラ・アリアに挑戦しよう 【知識及び技能】言葉の特徴をとらえ、楽曲に応じた発声の技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】言葉のリズムと旋律の関連を知覚し、表現意図をもたせる。 【学びに向かう力、人間性等】楽曲に関心をもち主体的に活動に取り組ませる。	・指導事項 姿勢や身体の使い方、呼吸、発声、歌詞の内容と曲想、楽曲の文化的・歴史的背景、それぞれの言語がもつニュアンスのちがいを ・教材 イタリア歌曲「Quando men'vo」	○		○			○	○	○	7
H 重唱の美しさを感じて歌おう 【知識及び技能】各パートの役割を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】役割やハーモニーを意識させ重唱の楽しさを味わわせる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的積極	・指導事項 各パートの音の重なり方や全体の調和、楽曲にふさわしい表現方法 ・教材 「A Whole New World」	○		○			○	○	○	4

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 実技ピアノ

教科：芸術

科目：実技ピアノ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～F組

教科担当者：（A～F組：松下訓子）

使用教科書：（ ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、糸に基づいて表現するための技能を身につけるように

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに完成を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、

科目 実技ピアノ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育や音楽系進路に必要なピアノの演奏技術と必要な楽典知識を身に着ける。	保育や音楽系進路のために必要な演奏のために、ハーモニーやリズムの選択、ニュアンスの感受など生徒が考え工夫して演奏する力を養う。	ピアノ演奏の技術習得に積極的に取り組み、自身の目標に向かって努力を積み重ねる学習態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A ピアノ実技 【知識及び技能】 ・ピアノの奏法を理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に着け器楽で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想に合わせた伴奏リズムの選択や、奏法の工夫など、楽曲の構成を知覚し、それらの働きを感受しながら独自の表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・奏法や楽器の特徴、曲想との関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む。	・バイエル ・コード伴奏（C/Dm/Em/F/G/Am/Bm 転回形含む） ・スケール（C/G/F） ・5指の独立、ポジション移動、アルペジオ、半音階 ・アンサンブル	○	○	○	○	【知識・技能】 ・指使いの意義を理解し、正しい指使いで演奏することができる。 ・コードの仕組みを理解し、正しく演奏できる。 【思考・判断・表現】 ・曲想や体の使い方を考えながらコードの転回形を使い分けることができる。 ・楽曲の雰囲気を読み取り、強弱やアーティキュレーションの変化を工夫して演奏している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分自身の目標を設定し練習に積極的に取り組むことができている。	○	○	○	18
	B 楽典 【知識及び技能】 ・楽典の基礎を理解し、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて考える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・五線、音部記号、大譜表、臨時記号、音価を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・楽典内容から読み解く曲想や表現上の効果に関心を持ち、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・五線 ・音部記号 ・大譜表 ・臨時記号 ・音価	○	○	○	○	【知識・技能】 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構造を知覚し、それらの働きを感受しながら近知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 学 期	C ピアノ実技 【知識及び技能】 ・ピアノの奏法を理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に着け器楽で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想に合わせた伴奏リズムの選択や、奏法の工夫など、楽曲の構成を知覚し、それらの働きを感受しながら独自の表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・奏法や楽器の特徴、曲想との関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む。	・バイエル ・コード伴奏（メジャー、マイナー 転回形含む） ・スケール（D/Bb/A/Eb） ・連打、装飾音、保持音、腕の交差 ・アンサンブル	○	○	○	○	【知識・技能】 ・指使いの意義を理解し、正しい指使いで演奏することができる。 ・コードの仕組みを理解し、正しく演奏できる。 【思考・判断・表現】 ・曲想や体の使い方を考えながらコードの転回形を使い分けることができる。 ・楽曲の雰囲気を読み取り、強弱やアーティキュレーションの変化を工夫して演奏している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分自身の目標を設定し練習に積極的に取り組むことができている。	○	○	○	20
	D 楽典 【知識及び技能】 ・楽典の基礎を理解し、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて考える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・小節、拍子記号、音程、音階、調号を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・楽典内容から読み解く曲想や表現上の効果に関心を持ち、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・小節 ・拍子記号 ・音程 ・音階 ・調号	○	○	○	○	【知識・技能】 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構造を知覚し、それらの働きを感受しながら近知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10

3 学 期	E ピアノ実技 【知識及び技能】 ・ピアノの奏法を理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に着け器楽で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想に合わせた伴奏リズムの選択や、奏法の工夫など、楽曲の構成を知覚し、それらの働きを感受しながら独自の表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・奏法や楽器の特徴、曲想との関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む。	・バイエル ・コード伴奏 (C/Dm /Em/F/G/Am/Bm転回形含む) ・スケール (E/A♭) ・音色の変化、ペダル、フレーズ、リズム ・アンサンブル	○	○	○	○	【知識・技能】 ・指使いの意義を理解し、正しい指使いで演奏することができる。 ・コードの仕組みを理解し、正しく演奏できる。 【思考・判断・表現】 ・曲想や体の使い方を考えながらコードの転回形を使い分けることができる。 ・楽曲の雰囲気を読み取り、強弱やアーティキュレーションの変化を工夫して演奏している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分自身の目標を設定し練習に積極的に取り組むことができている。	○	○	○	10
	F 楽典 【知識及び技能】 ・楽典の基礎を理解し、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて考える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和音の種類、楽語を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・楽典内容から読み解く曲想や表現上の効果に関心を持ち、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・和音の種類 ・楽語	○	○	○	○	【知識・技能】 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構造を知覚し、それらの働きを感受しながら近くしたことと感受したこととの関わりについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
										合計	70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 学校設定 科目 保育音楽

教科：学校設定 科目：保育音楽

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～F組

教科担当者：(A～F組：松下 訓子)

使用教科書：()

教科 学校設定 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、糸に基づいて表現するための技能を身につけるように。
 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに完成を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、

科目 保育音楽 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に必要な歌唱及び器楽の知識と技能を身につけ、保育や教育現場での即戦力となる力を身につける。	子どもの発達を理解した上で、音楽活動が発達にどのような影響を与えるか自分なりの考察し、活動内容や奏法について工夫する力を身につける。	保育者として、子どもの発達を理解し、発達段階に寄り添った音楽活動を実践していく意欲的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	鑑賞					
1 学 期	A 弾き歌い 【知識及び技能】 ・課題曲を暗譜し、保育現場の様々は場面で歌える歌唱力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の情景や歌唱の場面、子どもの発達を考えながら表現の工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの発達に寄り添った声掛けや演奏、歌唱を実践していく力を身につける。	・季節のうた ・手遊びうた ・右手コード伴奏 ・鍵盤をなるべく見ずに弾き歌い	○	○	○	【知識・技能】 歌唱実技、ピアノ伴奏実技 【思考力・判断力・表現力】 曲想に合わせた声の使い方の工夫、伴奏の工夫、楽器の使用方法・表現の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 学習態度、グループ活動状況	○	○	○	10
	B 絵本の朗読に音をつけよう 【知識及び技能】 ・本の内容に即した音を取り入れるための楽器の知識や奏法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容に即した効果音を、奏法等を研究したり楽器の音を合わせたりしながら表現の工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの発達段階に寄り添い、楽しめる活動を意欲的に考える。	・お話を朗読しながら、内容に合う効果音をグループで考える。	○	○	○	【知識・技能】 器楽実技 【思考力・判断力・表現力】 お話の内容に合わせた楽器の使用方法・表現の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 学習態度、グループ活動状況	○	○	○	5
	C リトミック 【知識及び技能】 ・リトミックの歴史、教育方法について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形作る要素を理解し、音の高低、長短等に注目して感受する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に体を動かし、音に反応する際に自分の体や頭の中で起こっていることを考察できる。	・即時反応（音価、ニュアンス、音の高低） ・スカーフ、三色積み木などを使った活動	○	○	○	【知識・技能】 リトミック活動のための基礎的な音楽の仕組みの理解 【思考力・判断力・表現力】 音の知覚、感受と即時反応力 【主体的に学習に取り組む態度】 学習態度、グループ活動状況	○	○	○	5
	D 楽器遊びを考えよう 【知識及び技能】 ・楽器の知識や奏法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの発達を考慮しながら、奏法やリズムの選択などの表現の工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの発達段階を考慮し、楽しめる活動を積極的に考える。	・日常にある音 ・カスタネット、トライアングル等の小物楽器 ・太鼓等の打楽器	○	○		【知識・技能】 器楽実技 【思考力・判断力・表現力】 発達段階に合わせた楽器の使用方法・表現の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 学習態度、グループ活動状況	○	○	○	6
	E 弾き歌い 【知識及び技能】 ・課題曲を暗譜し、保育現場の様々は場面で歌える歌唱力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の情景や歌唱の場面、子どもの発達を考えながら表現の工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの発達に寄り添った声掛けや演奏、歌唱を実践していく力を身につける。	・季節のうた ・手遊びうた ・両手コード伴奏 ・鍵盤をなるべく見ずに弾き歌い（前奏つき）	○	○	○	【知識・技能】 歌唱実技、ピアノ伴奏実技 【思考力・判断力・表現力】 曲想に合わせた声の使い方の工夫、伴奏の工夫、楽器の使用方法・表現の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 学習態度、グループ活動状況	○	○	○	12
	F 音楽劇を作ろう 【知識及び技能】 ・お話の内容に即した音を取り入れるための楽器の知識や奏法、効果音をグループで考える。	・お芝居をしながら、お話の内容に即した歌唱披露、楽器演奏披露、効果音をグループで考える。				【知識・技能】 歌唱実技、器楽実技 【思考力・判断力・表現力】 お話の内容に合わせた楽器の使用方法・表現の工夫				

2 学	<p>心ための楽器の知識や奏法、楽田の知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容に即した楽曲を選択し、奏法等を研究したり楽器の音を合わせたりしながら表現の工夫ができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階に寄り添い、楽しめる活動を意欲的に考える。 	○	○	○	<p>お話の内容に合わせて楽器の使用方法・表現の工夫</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>学習態度、グループ活動状況</p>	○	○ 8
--------	--	---	---	---	--	---	-----

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 芸術 科目 美術総合

教科: 芸術 科目: 美術総合 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 3 学年 A 組~ F 組
 教科担当者: (金曜5・6限:土生)(組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: ()

教科 芸術 の目標:
 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるように
 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		絵 ・ 彫	テ 映	鑑 賞						
1 学期 表現・鑑賞/デザイン 「色彩、美の秩序、文字の基本などについて学ぶ」 四字熟語の絵文字 【知識及び技能】 四字熟語の意味が伝わる効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて表す。 【思考力、判断力、表現力等】 伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 伝えたい内容を絵文字で効果的に表す創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項/内容 「飾る」「伝える」「使う」「環境」などの幅広いデザインの世界の役割を理解し、デザインとは何か、デザインをするときに大切なことは何かを考える。 色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。 伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、認識されやすい効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて、絵文字をデザインさせる。 ・教材 「色彩のしくみ」など絵・絵具		○	○	「知」形や色彩の性質やそれらが感情にもたらす効果、伝達の意図や目的に求められる造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」伝達の意図や目的に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 「発」伝達する内容や目的などから主題を生成し、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」見やすさや美しさの調和を感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 「態表」伝達する内容や目的を絵文字で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」絵文字のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	26
2 学期 表現・鑑賞/絵画 「版で表す」 色の重なりによる効果を考えて制作する 【知識及び技能】 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】 版画の表現のよさや特性を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 版による表現の特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項/内容 版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。 用具の適切な使用方法や安全の確認、注意点を理解させ、イメージ通りの表現ができるよう補助する。 作品の意図や制作の工夫を言葉でまとめさせ、発表する。また、他者の作品を鑑賞し、その意図や意見を理解し、多角的な見方をさせる。 ・教材 「版画のしくみ」など絵・絵具	○		○	「知」版による表現の効果や版画の技法や材料、用具の特性を理解し、意図に応じて創意工夫し、主題を追求して表すことを理解している。 「技」線や面などの版による表現の特性や効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫し、主「発」版画表現の特性を生かして主題を生成し、形体や構成、版の形式による効果などを考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」版の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫との関連などを考え、見方や感じ方を深めている。 「態表」版の特性を生かして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」版による表現の特性と作者の意図と工夫との関連を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	30
3 学期 表現・鑑賞/絵画 「植物を描く」 葉っぱを描こう 【知識及び技能】 形や構造、色彩の効果、植物の生命力や全体のイメージなどを捉え、鉛筆などの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力】 植物の印象などを基に、視点や構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 植物の生命力などを絵画に表す創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項/内容 植物の印象などを基に、視点や構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、形や構造、色彩の効果、植物の生命力や全体のイメージなどを捉え、鉛筆の特性を生かして表す。 鉛筆デッサンの基礎的な知識や技法を身に付けさせ、自分なりの表現工夫をさせる。 作品の講評を行い、自分の表現の工夫を発表させ、制作のまとめをさせる。また、他者の作品の意図や表現の工夫などを感じ取り、自分にはない意見を取り入れることで多角的な見方や、表現の幅を広げさせる。 ・教材 画用紙・鉛筆・練り消し・モチーフ 等	○		○	「知」植物の形体や構造、質感、色彩などの性質や造形的な特徴、感情にもたらす効果などを基に、生命力などを全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 「発」植物の美しさや特徴などを深く観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形体や構造、質感、色彩などを考え、創造的な構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 「態表」対象の植物などを見つめ、その美しさや生命感、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された植物などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	14
合計									70	

八潮 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科芸術 科目 書道Ⅱ

教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～ F組

教科担当者（加藤三奈）

使用教科書（光村図書「書Ⅱ」）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
単元 「はじめに 個性豊かな漢字の姿」 【知識及び技能】 「書道Ⅰ」で学習した三分野それぞれの特徴や構成等の要素と表現効果、書の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、書の効用と現代的意義について考え、よさや美しさを味わって深く捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書道への関心をもち、主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・漢字の五書体の変遷と、その歴史的背景を理解する。 ・各書体の字形や線質の特徴を捉え、古典の豊かな個性を味わう。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の特質について理解する。 ・書道Ⅰで学習した、用具用材についてや、各書体の筆遣いについて確認する。	○	○	○	○	【知識及び技能】 「書道Ⅰ」で学習した三分野それぞれの特徴や表現効果、書の特質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、書の効用と現代の意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 芸術科書道の学習に関心をもち、主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
単元 漢字の書「篆書」 【知識及び技能】 漢字の書を構成する様々な要素や、篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に篆書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。	・篆書の特徴や成立について理解する。 ・蔵鋒や中鋒など篆書の特徴的な用筆・運筆を理解し、習得する。 ・「泰山刻石」を鑑賞・臨書し、小篆の特徴である縦長で左右対称の字形や均一な線の太さ、正確な点画の配置などを理解する。 ・「石鼓文」を鑑賞・臨書し、小篆と比較して大篆の動きの				○	【知識及び技能】 篆書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
単元 漢字の書「隸書」 【知識及び技能】 漢字の書を構成する様々な要素や、隸書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 隸書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に隸書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。	・隸書の特徴や成立について理解する。 ・蔵鋒や中鋒、波磔など特徴的な用筆・運筆を理解し、習得する。 ・「乙瑛碑」「曹全碑」「石門頌」などの各書風に即した用筆・運筆を意識して臨書し、表現技法を理解・習得する。				○	【知識及び技能】 隸書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 隸書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
単元 漢字の書「草書」 【知識及び技能】 漢字の書を構成する様々な要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 草書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。	・草書の特徴や成立について理解する。 ・「十七帖」の鑑賞・臨書を通して、点画の連続や省略、柔らかさや線の太細などの特徴を理解する。 ・「書譜」と「自叙帖」を比較・鑑賞し、草書の多様な表現を感じ取るとともに、それぞれの書風に即した用筆・運筆、字				○	【知識及び技能】 草書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
単元 漢字の書「行書」 【知識及び技能】 漢字の書を構成する様々な要素や、行書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に行書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。	・行書の特徴や成立について理解する。 ・「集字聖教序」と「温泉銘」を比較・鑑賞し、行書の多様な表現を感じ取るとともに、王羲之の書風の普遍的な魅力などの特徴を理解する。 ・「三稿」の書の鑑賞・臨書を通して、筆者・顔真卿の心情やそれぞれの書きぶり、書風に即した用筆・運筆を理解する。				○	【知識及び技能】 行書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
単元 「仮名の書」 【知識及び技能】 仮名の書を構成する様々な要素や、仮名の古筆と特徴と用筆・運筆との	・「書道Ⅰ」で学習した仮名の成立や特徴、用筆・運筆などを復習する。 ・「高野切」の伝来と「第一種」					【知識及び技能】 仮名の古筆に基づく効果的な表現技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。				

3 学 期	<p>関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に仮名の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。</p>	<p>「第二種」「第三種」の意味、和歌の内容と大意、書風、連綿や墨継ぎによる表現の美を感じ取る。 ・「本阿弥切本古今和歌集」と「関戸本古今和歌集」の比較、臨書を通して、それぞれの用筆・運筆、表現の違いについて理解する。</p>	○	○	<p>【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8	
	<p>単元 「漢字仮名交じりの書」 【知識及び技能】 漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。</p>	<p>・「書道Ⅰ」で学習した漢字仮名交じりの書の特徴について復習する。 ・書く言葉を決め、古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かし、書体・書風・紙面構成、漢字と仮名の調和などの観点で作品の構想を練る。 ・試作を重ね、表現を工夫して作品を仕上げる。 ・全体で作品を鑑賞し合い、学</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 漢字仮名交じりの書の創作に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	8	
									合計	56